

令和6年度 施策評価について (答申)

令和6年8月

小金井市長期計画審議会

施策1 みどりと水の環境整備

長期計画審議会コメント

・公園環境美化サポーターの登録者数が増加しており、順調に推移していることは評価できる。市民協働による公園美化の更なる推進のため、環境美化サポーターに限らない多様な関わり方の受け口を創出していただきたい。

【意見】

指標1について、生け垣に対する補助要件等の緩和も効果的であると考えますが、より多くの市民が緑化推進に関わることができるよう、各家庭で手軽にできる取組の紹介等も検討していただきたい。

施策2 循環型社会の形成

長期計画審議会コメント

・市民だけでなく、事業者が出している、いわゆる「事業系ごみ」についても目を向け、循環型社会の実現に取り組んでいただきたい。

【意見】

市民のごみに対する意識が高いため、より具体的なごみの削減方法を例示することが必要である。レジ袋の有料化によりマイバックを使用する市民は増加しているが、マイボトルやマイ箸については、改善の余地があると感じる。

施策3 環境保全の推進

長期計画審議会コメント

・省エネチャレンジ事業は大変面白い取組であり、その結果報告が指標1の値に大きく影響する重要な情報であることから、市民への周知に努め、有効な活用に期待したい。

【意見】

気候変動が進み、一律に減らすことだけを指標としていることに違和感を感じる。エアコンの設定温度をむやみに上げることなどにつながらないか懸念がある。

指標2について、当初目標設定時とは、公共施設の数や気候変動の影響で状況が変わっていると思われることから、変動要因等を分析した上で、更なる省エネルギーに取り組んでいただきたい。

施策4 市街地の整備

長期計画審議会コメント

・「小金井らしい」まちづくりについて、何をして何をしないのかを明確にする必要がある。
・全ての市民を満足させることは不可能と感じており、行政としてどの方向に進むのかを決め、メッセージを打ち出してほしい。

【意見】

駅周辺整備の進捗率が0.5%の増加のみであるが、令和7年度に目標達成ができるよう取組に期待する。

施策5 住環境の整備

長期計画審議会コメント

・指標1の値は減少したものの、目標に対して順調に推移している状況は評価できる。引き続き、施策の推進に努めていただきたい。

【意見】

都市農業に対する市民の理解を高めるため、他市の取組なども参考にし、農家と市民の交流等の施策の工夫にも努めていただきたい。

農地を残すことの大切さを知ってもらうため、防災機能など、農地の多面的機能を周知していくことが必要である。

補助金や助成金以外の部分でも目標を達成するための取組を進めていただきたい。

施策6 都市インフラの整備

長期計画審議会コメント

・指標1は主体が誰かによって数字が変わることから、属性（車や歩行者など）によって分けることで、それぞれに応じた施策を明確にすることができるのではないか。

・指標3の値の進捗率に変動がなかったが、令和7年度の目標達成に向けた取組に期待する。

【意見】

指標1、2の値の目標達成には、道路の管理、補修を行うだけでなく、例えば、補修現場にその補修の必要性や方法を掲示することで、市民の道路管理に対する意識を変えることができるのではないか。また、いちご橋の補修工事等、具体的なアクションがどの程度指標に影響しているのか分かりづらいと感じた。

次期計画においては、指標3の目標値の見直しを検討していただきたい。

施策 7 交通環境の整備

長期計画審議会コメント

・交通事故死傷者数について、年齢層や場所、時間帯などの分析結果に応じた啓発、対策について、関係機関と連携し取り組んでいただきたい。

【意見】

指標 1 の対策は、道路の死角を減らすことが手近な対策の一つではないか。カーブミラーは新設だけでなく、障害物の除去や設置方向の調整等も効果があると思われる。

車社会からどう転換するのも、今後の課題となると考えられる。

施策 8 危機管理体制の構築

長期計画審議会コメント

・災害時に想定される被害や体験談などのイメージを共有することで意識改革が進み、指標 1、2 の値の改善が期待できないか。

・各種のイベントと組織化の関連性を意識し、目標の達成に向けた段階的な取組が必要であると考える。

【意見】

共助（地域のつながり）の強化及び地域防災力の向上のため、自主防災組織の設立やリーダーの養成を支援していただきたい。

様々な危機に強いまちの実現に向けて、各団体等と連携した取組を強化していただきたい。

施策 9 地域の安全・安心の向上

長期計画審議会コメント

・警察や東京都との連携を強化するとともに、犯罪発生件数や発生動向に関する情報を共有し、市としての具体的な取組につなげていただきたい。

【意見】

指標の対象や期間を明確にすることで、取るべきアクションがより効果的になるのではないかと。

小学生に限らず防犯ブザーを携帯する取組が各指標の値の改善につながらないかと。

施策 10 産業・観光の振興

長期計画審議会コメント

- ・道草市のキッチンカーなど、ウィズコロナを意識して実施してきた取組は評価できる。
- ・今後は、商店街の活性化につなげる施策についても、より充実することに期待したい。

【意見】

指標 1 の値が減少した要因を分析していただきたい。イベントだけでなく、日常のまちの様子を変える必要があるのではないかと。

施策 11 都市農業の振興

長期計画審議会コメント

・農業者数、農地面積が減少する中で指標 2 を目標値まで上昇させることは困難と思われるが、様々な取組を進めていることは感じられる。様々な視点から新たな取組も進めていただきたい。

【意見】

指標 1 の値は高い水準と感じているが、どのような施策が影響しているのか、また、他市との比較結果について分かったら評価しやすい。

学校給食などの消費規模が大きい販売機会を確保するため、農家と学校等をつなぐコーディネートに引き続き取り組んでいただきたい。

施策 1 2 子どもの育ちの支援

長期計画審議会コメント

・指標 1 の値は減少したものの、取組内容と課題の捉え方は妥当と感じる。指標の値の低下にも留意しつつ、引き続き改善に向けた取組を推進していただきたい。

【意見】

子ども自身が主体的に動いていくきっかけとして、子どもオンブズパーソン相談室の本格的な稼働に加えて、出前授業や子どもの権利に関する子ども向けホームページ公開の取組を継続していただきたい。

中高生の居場所について、ニーズに応じた新たな取組や支援を期待したい。

施策 1 3 子育て家庭の支援

長期計画審議会コメント

・更なる子育て家庭の支援の充実に向け、ニーズを踏まえた具体的な課題を抽出し、施策の方向性を検討していくことで、指標の値の改善につなげていただきたい。また、こども家庭センターの設置に伴う新たな取組にも期待したい。

【意見】

子ども施策の周知、認知度を高めることが大切であることから、積極的な情報発信に努めていただきたい。

施策 1 4 子育て・子育て環境の充実

長期計画審議会コメント

- ・各種取組が、どの程度目標に影響しているのが見えにくい。目標達成に向けた取組であることが分かるように報告してほしい。
- ・今後も、子どもの意見を聴取しつつ、地域全体としての子育て環境の充実や、子育てする側が安心して子育てできる環境の促進に取り組んでいただきたい。

【意見】

子育て・子育てネットワーク協議会に119団体が参加していることは小金井市の大きな財産であり、課題となる子どもの意見聴取にも極めて有効なのではないか。

市内の大学の活用の取組が不十分であると感じる。敷居もあるだろうが、賛同もあるはずである。

施策 1 5 学校教育の充実

長期計画審議会コメント

- ・多様な取組を柔軟に素早く行っていることが見て取れ、とても評価できる。学校教育における課題は多岐にわたるが、冷静に分析され、具体的な取組に活かされている。引き続き、課題を正しく捉え、具体的なアクションを継続して実施していただきたい。また、現場で働いている教員の働き方の改善について積極的に取り組んでいただきたい。

【意見】

指標2の値が微減し続けている点については、自己評価に記載されているとおり、改善に向けて動いていただきたい。

施策 16 学校環境の整備

長期計画審議会コメント

- ・ 指標 1 の値は一定の向上が見られ、取組の成果であると考え。小中学校トイレの洋式化など、子どもたちのより良い学校環境の構築に努めていただきたい。
- ・ トイレ環境の向上が進んでいることは分かったが、そのほかの修繕や建替えについての評価が少なく、進捗状況が見える化する必要性を感じる。

【意見】

小中学校トイレの整備が全面的に打ち出されているように見受けられるが、指標に設定されていない。また、指標 2 については実績値が分からず、指標として機能していない。

施策 17 芸術文化の振興

長期計画審議会コメント

- ・ 指標 1、2 は共に実績値が順調に増加している点は評価できる。小金井市ならではの文化を起点に、様々な取組が実現できていることが成果につながっているものとする。引き続き、市民の声も反映させながら、目標達成に向け取組を継続していただきたい。

【意見】

取組内容が美術に関する芸術が中心であるため、音楽や芸能といった幅広い芸術分野も視野に、事業を展開していただきたい。

美術館だけを文化の担い手とするのではなく、文化振興のための取組を PR してはどうか。

施策 18 国際交流・都市間交流の推進

長期計画審議会コメント

- ・ 休止していたイベントが再開され、指標 1、2 共に実績値が改善したことは評価できる。今後は、参加者の世代別人数の分析をし、どの層に向け展開していくかなど、イベント内容の再検討を視野に入れてほしい。
- ・ 来訪者が小金井市を紹介したくなるようなスポットを作り、SNS等を通じた情報発信による、個人ベースでの国際交流も積極的に考えてもいいと感じる。

【意見】

指標 2 の値が増加していることは評価できるが、人数が妥当なのか検証が必要ではないか。

施策 19 人権・平和・男女共同参画の尊重

長期計画審議会コメント

- ・ 地道な啓発活動の継続こそが肝要だが、各指標の値が順調に推移していることは評価したい。しかし、それに満足することなく、これからも継続して取り組んでいただきたい。
- ・ 多様な性への理解促進に向けた各種啓発活動は、「誰もが個人として尊重され平等に暮らす」という目指す姿を実現するために重要である。今後も多くの方に理解いただけるよう継続的に取り組んでいただきたい。

【意見】

課題が一般的な内容に偏っており、市としての課題なのかが見えない。

指標 2 について、アンケートの内容が施策の対象として適切なのか再考の余地があるように感じる。

施策20 生涯学習の振興

長期計画審議会コメント

- ・指標1の実績値が増加しており、目標値に達したことは大変評価できる。
- ・今後は、地域と学校、社会教育団体、大学等との連携を深めていくことに期待したい。

【意見】

団体で取り組むことだけが生涯学習ではない。個人個人が取り組んでいる生涯学習に対し、行政が光を当ててみてはどうか。

施設の老朽化については、具体的な対応策が必要であるとする。

施策21 スポーツの振興

長期計画審議会コメント

- ・課題と施策の方向性が合っており、今後も取組を継続していただきたい。適切な管理体制を維持しながらスポーツ環境の拡充を進めていくことに期待する。
- ・総合学院テクノスカレッジ、野村不動産ライフ&スポーツ株式会社（メガロス武蔵小金井）との連携協定により、少ない市内運動施設をカバーしている取組は評価できる。

【意見】

アンケートによって指標の数値が大きく変わってしまうのは望ましくない。工夫が必要だと考える。

施策 2 2 福祉のまちづくりの推進

長期計画審議会コメント

- ・ 評価は適正であると考えます。今後、福祉総合相談窓口事業の更なる充実に期待したい。
- ・ 令和5年度の主な取組が窓口事業と計画策定にとどまっていることから、次年度は具体的な取組にも着手し、地域の包括的な支援体制づくりに取り組んでほしい。また、次年度の施策の方向性として挙げられているDXの活用についても、研究を進め、可能な範囲で積極的に展開していただきたい。

【意見】

自己評価で「今後は、世代や属性を超えた交流の場や居場所を整備する地域づくりの充実が必要」とあるが、具体的にどのように充実を図っていくのかを示し、施策につなげていただきたい。

地域で助け合える関係が低調である点に懸念を感じる。

施策 2 3 高齢者の生きがいの充実

長期計画審議会コメント

- ・ 指標の実績値には直接反映されていないが、高齢者のデジタルデバインド解消のための事業等、有意義な取組がなされていた点は評価できる。ICT化が進む中、高齢者の社会参加に資する施策は、重点的に取り組むべきと考える。

【意見】

高齢者の居場所をまとめた冊子に男女比を入れることが、男性の社会参加を促すことになるのか疑問である。

男性高齢者のスキルと誇りを活かすプロジェクトはあり得る。そこに生きがいを感じれば喜んで参加してもらえるのではないかと。

施策 2 4 高齢者が暮らし続ける仕組みの充実

長期計画審議会コメント

・課題として挙げられているとおり、事業の目的、意義を市民に分かりやすく周知することが必要であるとする。指標の値の結果に基づき、事業計画に微修正を加えながら進めていただきたい。

【意見】

自助、共助、公助のバランスが、この施策のポイントであるとする。
地域包括支援センターが圧倒的業務量に疲弊しないか懸念している。

施策 2 5 障がい者福祉の充実

長期計画審議会コメント

・指標 1、2 共に、値の大幅な改善はないものの、着実に個々の取組の成果が上がってきていると感じる。
・地域生活支援拠点等整備事業を始め、障がい者を対象とする福祉事業は着実に進捗している点は高く評価できるが、住み慣れた地域で共に支え合うためには、障がいの有無に関わらず多くの方への啓発活動が必要であり、引き続き、市民の理解促進のための方策を検討していただきたい。

【意見】

次年度の施策の方向性に示された施策を展開することで、更なる改善があることに期待する。

施策 2 6 健康の維持・増進

長期計画審議会コメント

・指標 1 について、実績値は毎年下がっており、その下がり幅も大きくなっている。値が下がっている要因を分析し、課題をより具体化して進めていただきたい。
・食費が高騰しており、食育への啓発活動の重要性は増している。取組が継続されることに意味があるとする。

【意見】

この施策は切実であるからこそ、各指標の値は高い結果となったのではないかと。

施策 27 市民参加・協働の推進

長期計画審議会コメント

・指標 1 の実績値が目標値と乖離している状況であるため、若者等サイレント層への取組や、市民が参加しやすい環境づくりに努めていただきたい。日々の生活や活動が「まちづくり」や「市民活動」の一端になっていることもあり、そこに気づいてもらうことが指標の値の改善につながると考える。

【意見】

他の施策との連携、地域のつながり、地域貢献等、モチベーションを発揮しやすい取組を他市を参考に実施していただきたい。

協働提案制度を有効に活用し、行政の課題の把握や可視化に努めていただきたい。

施策 28 積極的な情報発信

長期計画審議会コメント

・LINE の運用を開始したことは評価できる。今後は、LINE の周知を図るとともに、運用方法等を分析、検証し、より分かりやすい情報発信に努めていただきたい。

【意見】

指標 1 の「入手できない」原因は「探しづらい」との分析だが、「情報不足」や「内容が複雑」等の様々な可能性も踏まえ、対策を検討していただきたい。

指標 2 の値の増加は評価できる。新たにスタートしたLINE の登録数を指標としてもよい。

オープンデータは加工しやすい形で公開していただきたい。

施策 29 計画的な行財政運営

長期計画審議会コメント

・PDCAの取組が行われたこと自体は評価できる。目標設定や振り返りなどの回し方について、各課の理解を深めていただく必要があると考える。

【意見】

次期計画においては、指標2の目標値の見直しを検討していただきたい。